

恋する人

恋はとろめくもの 愛は貫くもの
恋は自分勝手 愛は思いやり

異性との関係を言いつめてた名言だと思ふ。

君たちの年頃になれば、異性のことが気になりはじめる。それは大人になるステップでとても大切な経験だ。

片思いの間は、特に心がとろめく、喜びも大きい。相手と目が合った、話しかけられたなど、何人のこともないことでも、幸運な気持ちになる。(経験上)

相手にふさわしい人間になろうと努力する。エネルギーにもなる。

平安時代、人々はたくさん恋の歌を残している。
小野小町、和泉式部のように美人で

多くの恋愛をしたと言われる女性たちも、好きな人に会えない嘆きや別れの悲しみを歌にしている。

千年たった今でも心をゆさぶるのは、いそかに胸にしまっている恋や自分の思うようにならない恋が、その人の感情を豊かにし、魅力を深めているからなのだろう。

恋愛は人の心を耕してくれるものと言えるかもしれない。

一方で現実には、うまくいかなないことも多い。(経験上)

期待していた通りの人でないことがわかったり、相手が変化していく方向と自分の考え方がずれ違ったりすることもある。

しかし、たとえうまくいなくても、その人を優しい気持ちで見ることが出来るようになったら、一歩大人になったと言える。

そんな優しい心の持ちまには、また新しい人との出会いが待っていることだろう。



福三軒
校長室
だより

ほたる草

平成二十八年九月三十日(金)

No. 114

歩みつづける
彼岸花
咲きつづける
山頭火